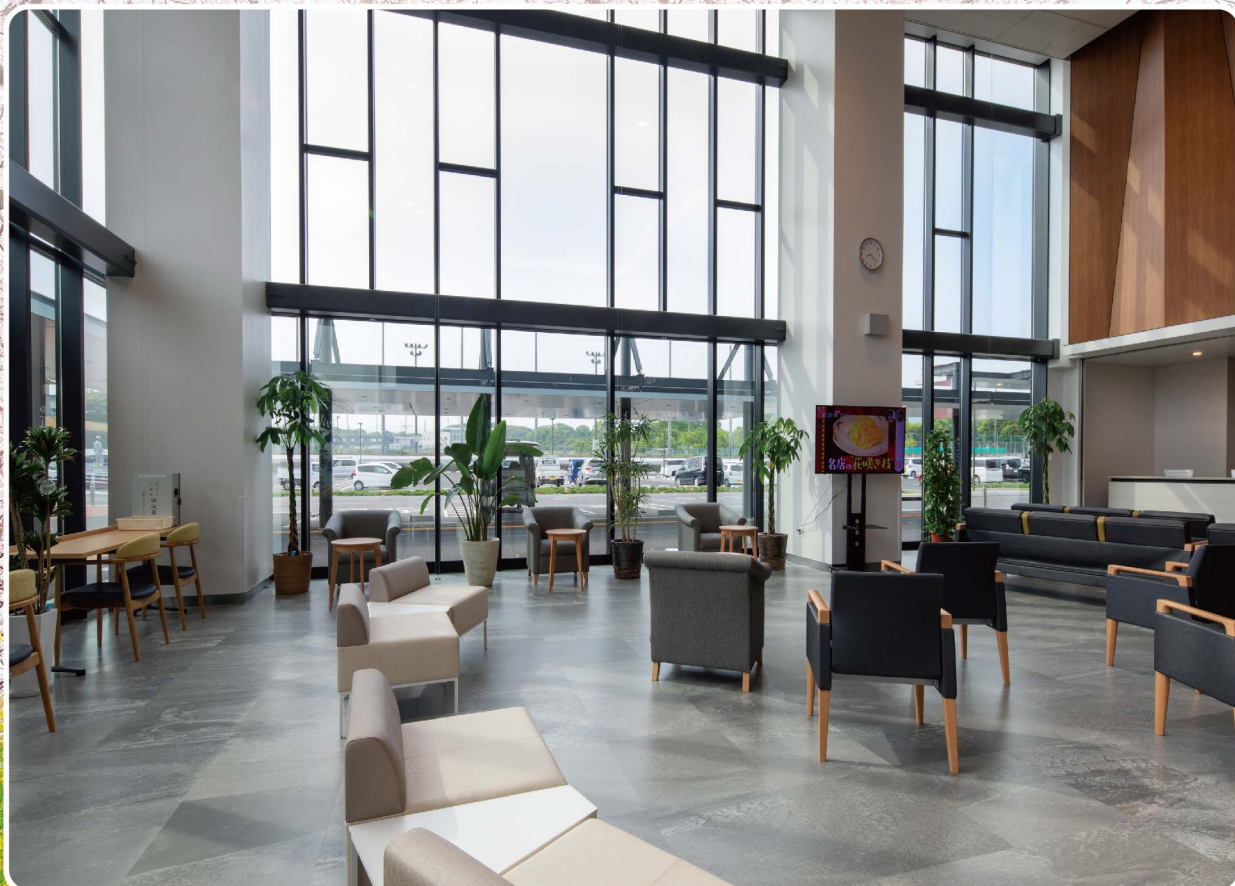


MRI

全世代の健康を支援し、進化する地域医療に挑む

[特集]

- ◎ 病院長挨拶
- ◎ 前立腺肥大症に対する新たな治療のご紹介
- ◎ くらて病院における「失神外来」
- ◎ 外来受診について
- ◎ 外来診療表
- ◎ 院内さんぽ



病院長挨拶

地方独立行政法人くらて病院 病院長
安部 治彦

くらて病院が新築移転し、早3年が経過しました。令和6年4月から地方独立行政法人くらて病院の理事長・病院長が交代し、更なるくらて病院の発展のため日夜全力を尽くしています。新しい町役場も隣に1月に完成しました。非常に斬新かつ環境に配慮した建物で、未来を見据えた素晴らしい建物です。いずれの施設も、町役場は町民の安全を守り身近な憩いの場の提供や行政サービスの充実を、病院は町民が安心していつでも医療を任せられる施設にしていく必要がありますが今後は、箱物に見あっただけの中身の充実と魂を込めていくことが重要と思います。

くらて病院には、医療の質を上げ、優れた治療実績が求められます。新しい建物で、最新の高額医療機器を備えていてもそれが十分活用できなければ意味がなく、宝の持ち腐れです。そういう意味で医師を含めた優れた人材の確保が重要です。今後も町民の皆さんの疾病治療と健康管理は、行政の協力も得ながら引き続き行っていきます。具体的には、住民の一次診療(かかりつけ医的な役割)から二次救急医療、更に専門的な高度医療までの広範な役割を担います。「医療の質」を高めるには、医師の専門的診療能力や高い倫理観はもちろんですが、他の医療従事者とのチーム医療で高めていく必要があります。その一方で、医療の安全管理体制や感染防止など、これらの対策にも万全を講じて初めて成し遂げられるものです。

くらて病院には、県内外に誇るべき治療法や素晴らしい診療実績を有している診療科があります。その一つが泌尿器科です。最先端治療を取り入れた県内でも有数の前立腺手術数を誇り、県内外から手術のためくらて病院を紹介されてくる患者さまも非常に多いです。もう一つは、当院循環器内科に設置されている失神外来です。一過性に意識を失う病気には種々の原因がありますが、原因が特定されないと適切な治療ができず、患者さまは医療機関のたらい回しにあいます。医師の診断能力が極端に試される疾患なのです。福岡市・北九州市内はもちろん九州全域から患者さまが紹介されてきます。

くらて病院は地方病院であるにも関わらず、全国的にも非常に高く評価され多くの患者さまが集まっている診療科があります。これらの得意分野を更に伸ばし、くらて病院を全国区の病院にしたいという目標に向かって日夜励んでいます。



前立腺肥大症に対する 新たな治療のご紹介

泌尿器科(理事長) 藤本 直浩

昨年くらで病院で開始した前立腺肥大症に対する新しい手術法である水蒸気治療(Water Vapor Energy: WAVE治療)についてご紹介いたします。

排尿障害(尿が出にくい、ちかい、漏れる、残った感じがするなど)は年齢とともに増えてきます。尿が出にくい原因は、神経の障害や加齢により膀胱の働きが悪くなることに加え、男性の場合には膀胱の出口を取り巻く前立腺が大きくなって尿の通り道を圧迫し排尿障害を起こします。加齢による膀胱機能低下の改善は困難ですが、前立腺肥大症の治療により排尿状態の改善は期待できます。治療は、まず内服薬による治療を行いますが、その効果が乏しい場合や長期に継続する内服薬をやめたい場合は手術による治療があります。

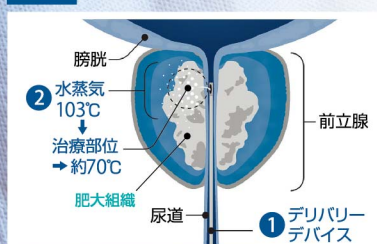
当院では、2024年5月に、北九州・筑豊地区では初めて、WAVE治療機器(Rezum)を導入して治療を開始しました。この治療は、専用の内視鏡を用いて前立腺に高温の水蒸気を注入し、前立腺の突出部分を縮小させます。これにより、尿道が広がり排尿状態を改善します。

この治療の特徴は、手術時間は10分以内で体への負担が少なく、高齢、認知症、心臓やその他の疾患がある、血液をサラサラにする薬を内服されている患者さまなど、これまでの手術法では、手術のリスク、手術後の身体・精神機能増悪が危惧される方々などがこの治療の良い対象となります。当院では2024年12月までに、34件のWAVE手術を行い、この数は福岡県内で最も多い症例数でした。

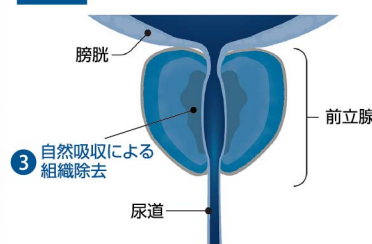
この治療により、膀胱内に留置されていたカテーテル(管)が術後に抜去できた患者さまや、これまで長く内服していた前立腺肥大症の薬剤を中止、または減らすことができた患者さまも少なくありません。

排尿障害は、前立腺肥大症以外にも癌や結石、感染症、神経の病気など多くの原因がありますので、排尿の異常や心配がある方は泌尿器科への受診をお勧めします。

術前



術後





くらて病院における「失神外来」

循環器内科(病院長) 安部 治彦

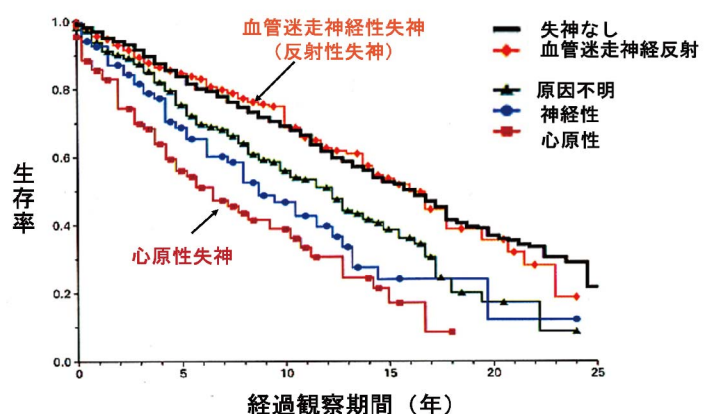
失神とは、「突然起こり、一過性に短時間(通常1分以内)意識を失って倒れるものの、自然に回復すること」と定義されます。国内では、年間78万人もの失神患者が救急外来をはじめとする医療機関を受診しています。失神は症状であり病名ではありませんので、失神をきたす原因疾患を確定しなければ治療することができません。失神の診療の現状は、極めて低い原因診断率、極めて高い誤診率、過剰検査や不要な入院などの過剰診療が指摘されています。また道路交通法改正により自動車運転の可否や診断書なども含めた日常生活指導も必要になります。

失神の原因疾患は大きく分けると「反射性失神」、「起立性低血圧」と「心原性失神」の3つに大別されます。最も頻度が多い(全体の60%)のは反射性失神で、起立性低血圧と心原性失神(それぞれ15%)があります。生命予後が最も悪いのは心原性失神で、その多くは不整脈によるものです(図)。心原性失神の場合、心臓突然死をきたす可能性があり、見逃すことのできないものです。

適切に失神の原因診断を行い、またてんかん発作などと適切に鑑別を行い、迅速かつ正確に原因診断を行うためには、専門的トレーニングを受けた循環器内科専門医による失神外来が必要なのです。しかし、失神に関する専門的トレーニングを受けた医師は極めて少なく、九州地区には2名の医師しかいないのが現状です。

くらて病院では、令和6年7月から循環器内科に失神外来を開設し、多くの紹介患者さまが紹介受診されています。時々気を失う患者さまがおられましたら、失神外来を受診してください。

原因疾患別の生存率



外来受診について

初めて受診される方へ

- 紹介状が無くても受診できます。
- 診療科により診察日程(曜日・午前午後等)が異なります。外来診療表をご確認の上ご来院ください。
- 診療科によっては、事前に予約(眼科・脳外科)が必要な場合もあります。
- ご来院前に、電話でお問い合わせをいただければ、予約や診療状況などをお伝えすることができますので、事前のお問い合わせ(TEL:0949-42-1231)をお勧めします。
- 指定された医師が診察予定日に不在の際は、他の医師が診察させていただく場合がございます。
- ただし、急患はこの限りではありません。

当院の診療科

内科(一般) | 呼吸器内科 | 循環器内科 | 消化器内科 | 糖尿病内科 | 血液内科 | 外科 | 乳腺外科 | 肛門外科 | 整形外科 | リウマチ科 | 皮膚科 | 形成外科 | 美容外科(自費診療) | 泌尿器科 | 腎臓内科 | 脳神経外科 | 人工透析内科 | 小児科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | 麻酔科(ペインクリニック) | 放射線科



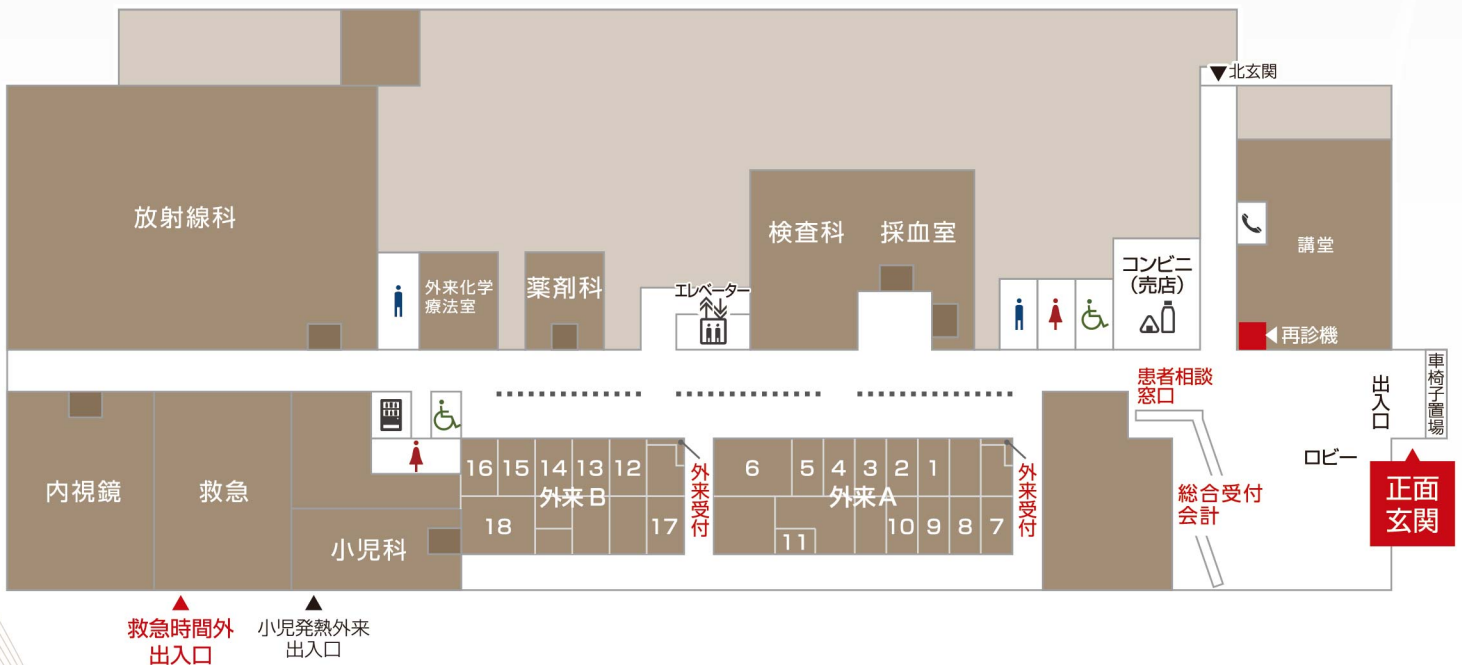
各科の詳細についてはホームページをご参照ください。

← www.kurate-hp.com

フロアマップ

1F

- 男子トイレ
- 多目的トイレ
- 公衆電話
- 女子トイレ
- エレベーター
- 自販機コーナー



外来診療表

令和7年3月1日現在

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
初診	○	○ 新患のみ	○	○ 新患のみ	○	○ 新患のみ	○	○ 新患のみ	○	○ 新患のみ
一般内科	○				○				○	
呼吸器内科	○		○		○		○		○	
循環器内科 失神外来	○		○ (再診のみ)		○		○		○	
ペースメーカー外来 MRI外来				○						
消化器内科	○		○		○		○		○	
糖尿病内科			○				○		○	
脳神経外科					○					
外科	○ 新患のみ		○		○		○		○	
乳腺外科						○				
整形外科	○		○	○ 急患のみ	○	○ 急患のみ	○		○	○ 急患のみ
皮膚・形成外科	○		○		○		○			
自費診療 (皮膚レーザー治療)		○ 予約のみ				○ 予約のみ		○ 予約のみ		
ペインクリニック									○	
泌尿器科	○	○	○		○ 9:30~	○	○ 9:30~		○	
小児科	○	○	○	○	○	○		○ 14:00~18:00	○	○
眼科			○		○ 第2・4のみ				○	
耳鼻咽喉科				○				○	○	

■ は午前診療 □ は午後診療

院内
さんぽ



「個室」のご案内

各病棟に有料個室をご用意しています。有料個室をご希望の方は入院申し込み時にご相談ください。また4人部屋に入院後に個室へ替わることもできますので、ご相談ください。



地方独立行政法人

くらて病院

外来受付時間についてのご案内 ★月曜日～金曜日

午前:8時30分～11時30分 午後:1時30分から受付開始
 【受付終了時間】新患/午後4時まで 再診/午後4時30分まで
 小児科(木曜のみ)/午後6時まで
 【休診】土曜・日曜・祝日 年末年始(12/29～1/3)
 ●初診の患者さん以外は全診療科予約制です。



www.kurate-hp.com

〒807-1311 福岡県鞍手郡鞍手町大字小牧2226番地2
 TEL:0949-42-1231 FAX:0949-42-4391